

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	濤隈 芝原 平 (平井 住夫)	内線	4440 (4452)
------	-----------------	---------------------	--------------------	----	----------------

事業種目	海岸事業	事業名	事業区間	総事業費	4.0億円
		高潮対策事業	家島港海岸 右ノ浦真浦地区	内用地補償費	-

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
飾 磨 郡 家 島 町	H 1 8	H 1 8	H 2 0

事業の目的	事業内容
<p>家島町は、山が海にせまる地形であり、海岸線背後には民家や事業所が密集している。</p> <p>しかし、既存の海岸は老朽化が著しく、昨年台風による高潮時には、機能低下により海岸線背後で高潮浸水被害が発生している。このため、老朽化した護岸の補強を行うことで、高潮浸水被害を防止し住民の安全で安心な暮らしを確保する。</p>	<p>護岸（補強） L = 920m</p> <p style="text-align: right;">[ 負担割合 国：11/20 県：9/20 ]</p>

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年の台風16号、台風18号、台風21号によりのべ床上浸水102棟、床下浸水268棟にもものぼる甚大な被害が発生し、住民生活に深刻な影響を与えた。この浸水の原因としては、無堤防部から溢水、排水管からの逆流、老朽化した護岸下面からの漏水である。これまで、応急対策として仮設堤防の設置などを実施しているところであるが、本事業により抜本的な対策として、老朽化した護岸の補強工事に着手する。</li> <li>・今回、老朽化護岸を水密性の高い構造で補強することで、高潮に対する防災機能が向上し、住民の安全で安心な暮らしを確保することができる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">台風別 浸水棟数一覧 (棟)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>台風16号</th> <th>台風18号</th> <th>台風21号</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床上浸水</td> <td>55</td> <td>16</td> <td>31</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>床下浸水</td> <td>131</td> <td>64</td> <td>73</td> <td>268</td> </tr> </tbody> </table>		台風16号	台風18号	台風21号	合計	床上浸水	55	16	31	102	床下浸水	131	64	73	268
	台風16号	台風18号	台風21号	合計												
床上浸水	55	16	31	102												
床下浸水	131	64	73	268												

(2)有効性 ・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用便益比 B / C = 4.6</li> <li>・地元家島町においても、当事業の実施に先立ち、内水の排水調査を実施するなど、協力体制は整っている。</li> <li>・真浦地区の旅客船ターミナル再整備事業とも連携を図り事業を進捗させることができる。</li> </ul>
------------------------------	--

(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、既設護岸前面に必要最低限前面に設置することから、環境や景観に与える影響は少ない。</li> </ul>
----------	--

(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸線背後には、民家や事業所が密集しており、再び浸水すれば甚大な被害が発生するため、早期に整備を実施する必要がある。</li> </ul>
--------	---